



Sr. Francisco Palmieri.
Jefe de Misión de la Oficina Externa de los EE. UU. para Venezuela
Vía correo electrónico.-

Excelentísimo Sr. Embajador.

Le extiendo un cordial saludo en nombre de la Asamblea Nacional y del pueblo de Venezuela, y en su representación, respetuosamente, le informo a su Gobierno que la Asamblea Nacional de 2015, última institución democrática existente en

(写真) Efecto Cocuyo “野党国会 2025年1月6日～12月16日まで国会延長を決定”

2024年12月23日(月曜)

政治

「[トランプ政権 Claver-Carone 氏をラ米担当に任命](#)」

「[検察庁 追加の拘束者解放を発表](#)

～解放者956名、拘束中の外国人は19名～」

「[墨・コロ マドゥロ大統領就任式に要人派遣](#)

～両国とも在ベネズエラ大使の派遣を検討～」

経済

「[カカオ販売価格 バンド制の採用で合意](#)」

「[ガス不足レストラン休業 クリスマス商戦打撃](#)」

社会

「[コロ・ベネ国境 5年半ぶりにバス移動可能に](#)」

2024年12月24日(火曜)

政治

「[野党国会 1年間の延長を決定](#)

～AD・UNT 野党国会延長に反対～」

「[与党国会 野党国会にシモン・ボリバル法適用](#)

～制裁を悪用し、不当に国の資金を流用～」

経済

「[クリスマスで物流に混乱 Zoom 配送に遅れ](#)」

「[ホテル クリスマス・年末の予約好調](#)」

社会

「[マドゥロ政権 年末・クリスマス補助金を支給](#)」

「[クリスマス料理の必要経費は?](#)」

2024年12月23日（月曜）

政治

「トランプ政権 Claver-Carone 氏をラ米担当に任命」

12月22日 トランプ次期大統領は、Mauricio Claver-Carone 氏（下写真の男性）を国務省のラテンアメリカ担当官に任命すると発表した。

Claver-Carone 氏は「米州開発銀行（BID）」の元頭取。同氏がBID頭取に就任したのは2020年10月だが、22年9月に解任されている。

解任の理由は、自身と親密な関係にあった部下に対して昇給など不適切な行いがあったことが理由だということ（「ベネズエラ・トゥデイ No.812」）。

それ以前は1期目のトランプ政権の下で、米国財務省の国際テーマ首席顧問を担いベネズエラへの経済制裁を推進。その後、2018年には米国大統領府の特別アシスタントに任命され、米国の対ベネズエラ政策に大きく関与した人物である。

Claver-Carone 氏がラ米担当官に任命されたことは、マドゥロ政権にとってネガティブなニュースと言える。



(写真) Bancaynegocios

「検察庁 追加の拘束者解放を発表

～解放者956名、拘束中の外国人は19名～」

12月23日 検察庁は、追加で223名の拘束者を解放したと発表した。今回の解放により、大統領選後の拘束者の解放者数は合計で956名になった。

検察庁は、大統領選後の暴動に関連して2400名超を拘束したと発表している。つまり、今回の解放後もまだ1500名弱は拘束されていることになる。



COMUNICADO

El Ministerio Público informa que en el transcurso de la jornada de hoy en coordinación con los tribunales penales fueron revisados un nuevo grupo de casos -que se suman a los tramitados en horas de la mañana- vinculados a la violencia post-electoral.

En este sentido, fueron solicitadas y acordadas 46 revisiones de medidas a procesados tras los graves hechos posteriores al 28 de julio.

Con estas nuevas solicitudes aprobadas se alcanza la cifra de 956 excarcelaciones realizadas en el marco del debido proceso garantizado por la Constitución de la República.

El Ministerio Público reafirma su compromiso en defensa de la Paz, la Justicia y los Derechos Humanos.

Caracas, 23 de diciembre de 2024.

Tarek William Saab
Fiscal General de la República

(写真) 検察庁

なお、人道団体「Foro Penal」の認識では、大統領選後の抗議行動でこれまでに1877名が逮捕されたと認識している。

この1877名のうち、19名は外国人。ベネズエラとの二重国籍保有者は31名だという。

19名の国籍内訳は、4名が米国人、4名がコロンビア人、3名がエクアドル人、2名がスペイン人、他アルゼンチン人、ガイアナ人、メキシコ人、ペルー人、ウクライナ人、ウルグアイ人が1名ずつだという。

また、二重国籍保有者のうち12名はスペイン国籍、9名はイタリア国籍、6名はコロンビア国籍、3名はポルトガル国籍、1名はチリ国籍を保有している。

「墨・コロ マドゥロ大統領就任式に要人派遣 ～両国とも在ベネズエラ大使の派遣を検討～」

12月23日 メキシコのクラウディア・シェインバウム大統領は、2025年1月10日に予定されているマドゥロ大統領の大統領就任式に Leopoldo de Gyves 在ベネズエラ・メキシコ大使を派遣すると発表した。

大統領就任式に政府関係者を派遣する行為は、実質的にマドゥロ大統領の就任を認識する行為であり、マドゥロ政権に批判的な国々から批判の声が挙がっている。

「(ベネズエラの大統領就任式に関して、)政府代表者として在ベネズエラ・メキシコ大使を派遣する」
「ただし、現時点で招待状を受け取っていない」
「招待状を受け取っていないのは、メキシコだけに限らず、他国も招待状を受け取っていない」
とコメントした。

なお、シェインバウム大統領は2024年10月に大統領に就任した。シェインバウム大統領は、マドゥロ大統領を自身の就任式に招待したようだが、マドゥロ大統領は出席しなかった。

メキシコと同様にコロンビアのペトロ政権もマドゥロ大統領の就任式に政府関係者を派遣する方向で検討を進めているようだ。

コロンビアの Jorge Rojas 副外務大臣は、現地メディア「Noticias Caracol」のインタビューにてマドゥロ大統領の就任式についてコメント。

「コロンビア政府と同様に多くの国の政府がマドゥロ大統領の就任式に政府要人を派遣するだろう」

「我が国に関しては、现阶段では Milton Rengifo 在ベネズエラ・コロンビア大使の派遣を検討している」
との見解を示した。

前号「[ベネズエラ・トゥデイ No.1158](#)」の通り、コロンビア政府の Luis Gilberto Murillo 外相は、2025年1月以降のベネズエラ大統領認識について「両者とも大統領と認識しない」と明言していた。

両者の見解に矛盾が生じているように思えるが、1月10日の就任式にははっきりするだろう。

経 済

「カカオ販売価格 バンド制の採用で合意」

「カカオ生産者組合 (Asoprocave)」は、カカオの販売価格をバンド制 (変動可能な範囲を定める仕組み) にすることで合意したと発表した。

Asoprocave の Álvaro López 氏によると、カカオ産業に関わるカカオ生産者、輸出者、土地農業省らの関係者が協議を行い、今回の合意に至ったという。

合意内容は、1トン当たり1万ドルを基準価格として、上限価格は基準価格から33%まで (つまり1.33万ドル/トン)。

最低価格は基準価格から25%以下まで（つまり7500ドル/トン）だという。

López氏によると、今回の合意によりカカオ産業が停滞することを防ぐことが可能になるという。

「ガス不足レストラン休業 クリスマス商戦打撃」

11月11日 モナガス州エスキエル・サモラ市 Punta de Mata 地区にある PDVSA の「Operativo Muscar コンプレックス」のガスダクトにて火災が発生した。

同施設では家庭用ガスを生産しており、全国的（特に地方を中心）にガス不足の問題が深刻化している（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1154](#)」）。

経済系メディア「Bancaynegocios」は、家庭用ガスの不足に関してカラボボ州のレストラン経営者の声を報道。

同レストランでは、ガスが供給されないことで料理を作ることが出来ず、クリスマスの稼ぎ時に店の営業を停止しなければいけなくなったという。

他のレストランも同様にガス不足の影響を受けており、薪を使用して火を起し、レストランの営業を続けるところもあるという。

ただし、薪を使用する前提で店が設計されていない店舗は多く、こういった対策を出来るレストランは限られるようだ。

他に電気コンロで料理を試みるレストランもあるが、料理速度が遅く、基本的にレストランの仕様に耐えることは出来ないという。

社 会

「コロ・ベネ国境 5年半ぶりにバス移動可能に」

コロンビア交通省は、12月16日付で通知を発表。

2025年からベネズエラとコロンビア国境を運行するバスを再開するとした。

両国の国境はペトロ政権が発足した2022年から移動が再開しているが、バスの運行に関しては2019年8月から停止が続いていた。

つまり、約5年半ぶりに両国国境のバス移動が再開することになる。

バスの運行が許可されたのは14のバス会社。

各社は移動ルートのコロンビア交通省に申請する必要があり、正式な路線再開日およびルートは決まっていない。

なお、2019年まで両国国境のバス運行を行っていた事業者は「2019年8月以前と同じルートを申請する予定」とコメントしている。

2024年12月24日（火曜）

政 治

「野党国会 1年間の延長を決定」

～AD・UNT 野党国会延長に反対～

現地メディア「Efecto Cocuyo」は、2015年の国会議員選で発足した野党多数派の国会（通称、野党国会）が2025年も1年間、国会を延長することを承認したと報じた。

「Efecto Cocuyo」が公表した書簡は、野党国会の延長について米国のベネズエラ担当大使の役割を担っている Francisco Palmieri 氏に宛てたもので、そこには野党国会を約1年間延長（2025年1月6日～同年12月16日まで）することで合意したと記載されている。

なお、同書簡は12月19日付のもので、野党国会の延長を決定したのは12月14日だったという。

また、同書簡には Dignora Figuera 野党国会議長、Marianela Fernandez 国会第1副議長、Auristela Vasquez 国会第2副議長の署名があるが、このうち Auristela Vasquez 国会第2副議長は12月15日付で第2副議長からの辞任を表明したという。

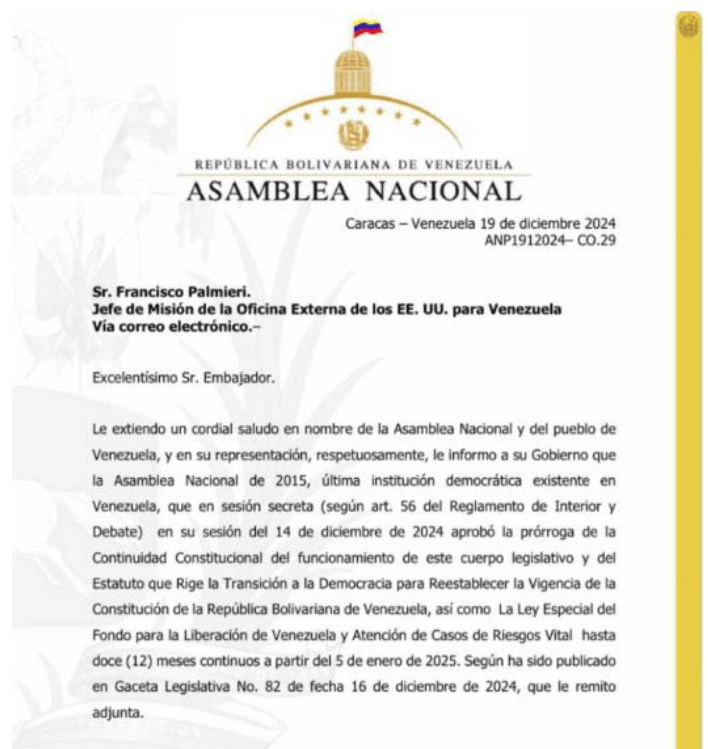
前号「[ベネズエラ・トゥデイ No.1158](#)」で紹介した通り、主要野党のうち「新時代党(UNT)」と「行動民主党(AD)」は「2024年をもって野党国会を解散させるべき」と主張している。

今回延長が決まったことを踏まえると、「第一正義党(PJ)」と「大衆意思党(VP)」は野党国会の継続を支持したと言えそうだ。

ただし、PJについてはエンリケ・カブリレス元ミランダ州知事がこれまでの野党の方針に異を唱えており、カブリレス元知事を支持するグループも存在する。PJは一枚岩ではないだろう。

今回、野党国会の継続が承認されたことで、仮にゴンサレス候補がベネズエラに帰国した場合、2025年1月10日に大統領就任を宣言する場所が存在することになる。

ただし、野党が分裂していることは明白で、2025年の選挙（国会議員選・地方選）で分断が加速することも考えられそうだ。



(写真) Efecto Cocuyo

「与党国会 野党国会にシモン・ボリバル法適用 ～制裁を悪用し、不当に国の資金を流用～」

与党国会は、経済制裁・軍事介入・サイバー攻撃などを支持・支援する個人・法人を罰する趣旨の法律「シモン・ボリバル法」を可決した。

既にシモン・ボリバル法は官報で公布されており、現在のベネズエラで有効な法律になっている（[「ウィークリーレポート No.384」](#)）。

12月24日 与党国会は検察庁に対して、2016年に発足した野党国会の元議員らにシモン・ボリバル法を適用するよう要請した。

ホルヘ・ロドリゲス国会議長は、「野党国会の議員らは“民主主義の擁護者”という名目で外国にあるベネズエラ政府資産から毎月5000ドルずつを受け取っている」「また、CITGOの配当金を政治資金に流用している」と指摘。

「ベネズエラ国民の資金を盗む行為であり、シモン・ボリバル法の適用対象になる」との見解を示した。

なお、シモン・ボリバル法の対象者には、最大105.6万ドルの罰金と30年間の懲役刑、60年間の公職選出馬禁止の罰が科せられる。

また、ロドリゲス国会議長は、Francisco Palmieri氏に宛てた書簡（前ページ参照）についても言及。

「彼らはベネズエラ国民ではなく、彼らの上司である米国のPalmieriに資金を流すよう求めている」と訴えた。

経 済

「クリスマスで物流に混乱 Zoom 配送に遅れ」

物流業者「Zoom」は、同社ウェブサイトにて商品配送に遅延が起きていると発表した。

遅延の理由はクリスマスシーズンで商品量が多くなっており、海路・空路での商品到着が遅れているためだという。

「時期的な理由により、我々のオペレーション能力とは直接的な関係なく商品の引き渡しスケジュールに遅延が生じている」

「我々は商品の供給先と定期的に連絡を取り合っており、ベネズエラに商品が到着次第、速やかに顧客に荷物を引き渡す」と発表した。

「ホテル クリスマス・年末の予約好調」

「ベネズエラ全国ホテル連盟（Fenahoven）」のAlberto Vieira代表は、ラジオのインタビュー番組に出演。

2024年最終週および2025年第1週のホテル予約状況について、「都心部を中心に全国的に好調」と説明した。

なお、観光地であるTucacasやMargaritaのホテル事業者とも定期的に連絡を取り合っているようだが、現在もまだ一定の空きはあるようで、今からでも宿泊予約は可能との見解を示した。

社会

「マドゥロ政権 年末・クリスマス補助金を支給」

マドゥロ政権は、「祖国システム」の登録者を対象に毎月定期的に補助金を支給している。また、国民の祝日には、祝日を祝うために補助金を支給することも多い。

マドゥロ政権は、「祖国システム」の登録者を対象「年末・クリスマス補助金 (Bono Feliz Navidad y Próspero 2025)」を12月23日～30日にかけて支給すると発表。

支給額は235ボリバル。ドルに換算すると4.55ドルに相当する。

「クリスマス料理の必要経費は？」

このようにマドゥロ政権は一定の補助金を支給しているが、CENDAS-FVMによると24年11月の5人家族の基礎食糧費は493.28ドルであり、4.55ドルでは全く足りない。

また、現地メディア「Crónica Uno」は、クリスマスに6人家族が伝統的なクリスマス料理を食べるために必要な費用について報じている。

伝統的な料理とは「アジャカ(肉、オリーブ、パプリカ、干しブドウなどを混ぜて、とうもろこし粉の生地で包んだ食べ物、右上写真の一番左)」「豚肉(右上写真の左から2番目)」「パン・デ・ハモン(右上写真の右下)」「エンサラダ・デ・ガジーナ(右上写真の右上)」の4種。

また、食後のデザートとして「パネトン」もクリスマスの定番である(右下写真)。



(写真) Shutterstock

スーパーマーケットでこれらの食べ物を購入する場合、138ドルほどかかるという。

なお、2023年に「Crónica Uno」が同様の調査を行った際には86.8ドルだったようで、ドル建てでもコストがかなり上がったようだ。

以上